



エネルギー

株式会社アグリツリー



持続可能な食とエネルギーを創り続けていく

連絡住所

福岡県那珂川市中原2丁目120番地
博多南駅前ビル3階

電話/mail

092-953-2725/info@agritree.jp

ソーラーシェアリングは、世界の食糧とエネルギーの問題を解決し、飢餓や貧困、略奪の無い世界を作るために日本で発明されました。世界中の農村、無電化地域などに設置を進めることによって、世界平和に貢献していきたいと考えています。（代表取締役 西光司）



代表取締役 西光司（右）
管理部マネージャー 井坂次郎（左）

農業と太陽光発電事業を両立「ソーラーシェアリング」



▲ ソーラーシェアリングの導入例

▲ 農地に設置する太陽光パネル

効果

ソーラーシェアリングシステムは、農地に設置した高い架台の上に、幅の狭い太陽光発電パネルを設置することで、太陽光を農業生産と発電とで共有する仕組みです。

営農を続けながら、農地の上部空間を有効活用することにより**発電収入**を得ることができ、**農業経営をサポート**するというメリットがあります。

また、太陽光発電の導入により、**CO₂排出量の削減**にも貢献できます。その他、既存の農地を活用するため、発電のための新たな**土地開発の抑制**にもつながります。

用途

農業者の新たな収入源の確保や自家発電によるコスト削減等のニーズに対応可能です。発電設備のない農村での電源としても活用可能です。

発電事業者や政府関係者の方々と共同で事業を実施することもできます。

特長

● 農地からさらなる付加価値を創出

新たな土地開発を必要とせず、既存の農地を有効活用することで発電を実施できる点が特徴です。農業者は土地開発にかかる費用を抑えながら、収入増加やコスト削減を実現することができます。また、農作物の収穫に影響が出ないよう、作物の育成に適した日射量を確保できるような設計（パネルの角度・間隔等）を提案します。

● 事業計画策定から金融機関対応まで

事業計画策定、設計・工事維持管理を実施するだけでなく、日本で培った経験をもとに海外金融機関との折衝も併せて行うなど、ソーラーシェアリング事業の実施を全面的にサポートします。

● 様々な農地で導入可能なシステム

日本国内での導入実績を有しており、これまでにジャガイモ、玉ねぎ、サツマイモ、落花生、サトイモ、大豆、麦、ブルーベリー等の農地で導入されています。その他にも、水田など様々な農地で導入可能です。